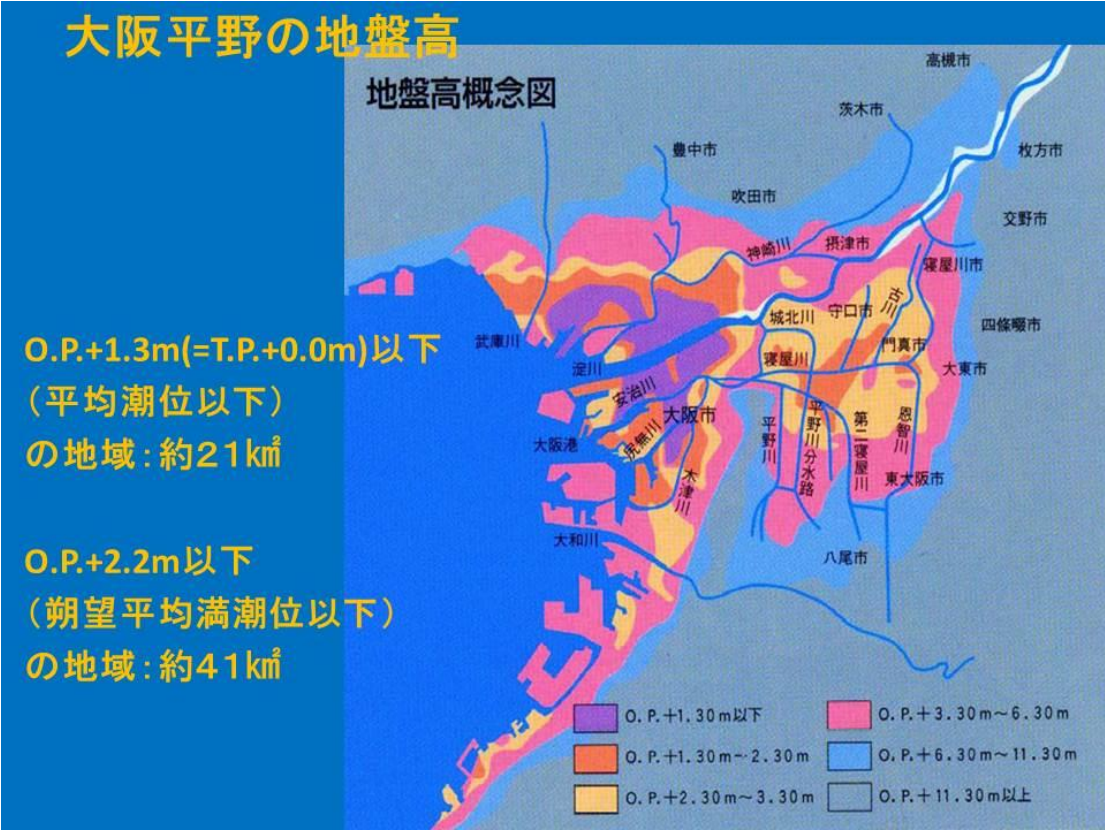
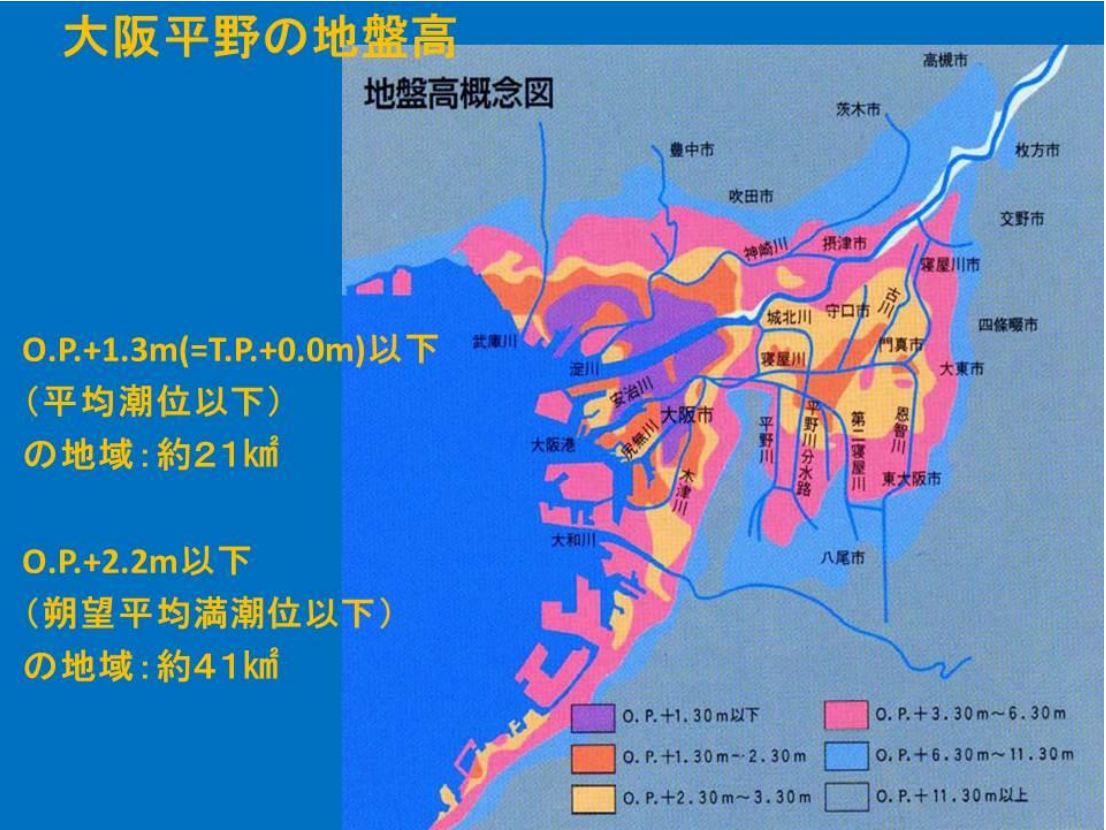


旧（令和 4 年 4 月）	新（修正素案）
大阪平野の地盤高 地盤高概念図 O.P.+1.3m(=T.P.+0.0m)以下 (平均潮位以下) の地域:約21km² O.P.+2.2m以下 (朔望平均満潮位以下) の地域:約41km²  図 大阪平野の地盤高 出典：大阪府 「[津波・高潮ステーション]海より低いまち大阪」 (http://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/tsunami/tsuna-symbol.html) より	大阪平野の地盤高 地盤高概念図 O.P.+1.3m(=T.P.+0.0m)以下 (平均潮位以下) の地域:約21km² O.P.+2.2m以下 (朔望平均満潮位以下) の地域:約41km²  図 大阪平野の地盤高 出典：大阪府 「[津波・高潮ステーション]海より低いまち大阪」 (http://www.pref.osaka.lg.jp/nishiosaka/tsunami/tsuna-symbol.html) より
第 3 節 地震規模、被害の想定 3－1 地震規模の想定 （1）上町断層帯による震度分布 佛念寺山断層、上町断層、長居断層、坂本断層、久米田池断層のすべてが活動し、上町断層の北端部から破壊が開始すると仮定し、その最大級（マグニチュード 7.8 程度）の地震を想定した、本市域における地震動の強さは下図のとおりである。	第 3 節 地震規模、被害の想定 3－1 地震規模の想定 （1）上町断層帯による震度分布 佛念寺山断層、上町断層、長居断層、坂本断層、久米田池断層のすべてが活動し、上町断層の北端部から破壊が開始すると仮定し、その最大級（マグニチュード 7.8 程度）の地震を想定した、本市域における地震動の強さは下図のとおりである。

旧（令和 4 年 4 月）

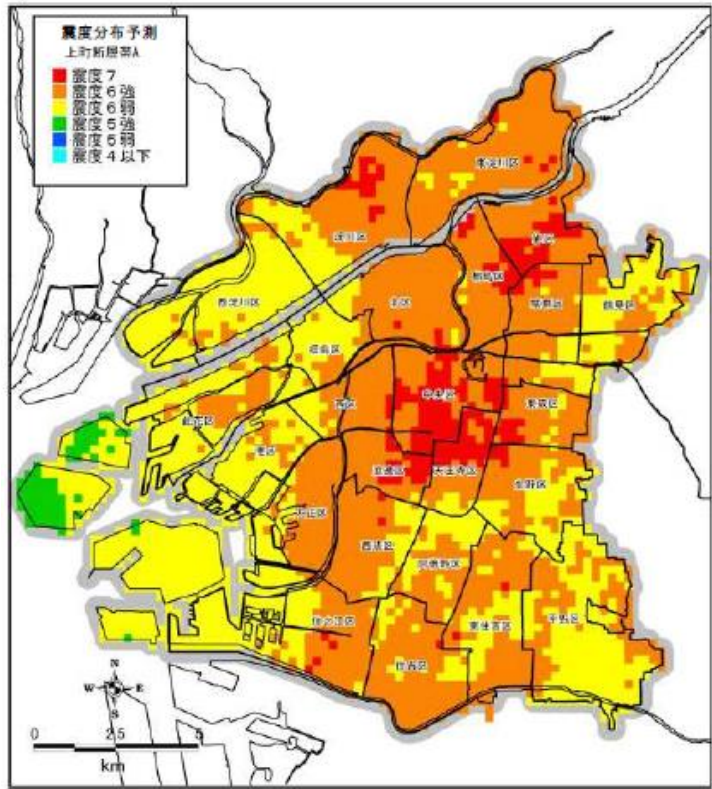


図 予測震度（上町断層帯地震）

出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成 1 9 年 3 月）「被害想定の見直し」

（2）上町断層帯以外の断層等による震度分布

上町断層帯以外の断層等で、本市に影響を与えると考えられる生駒断層帯、有馬高槻断層帯、中央構造線断層帯及び海溝型の南海トラフの活動による東南海・南海地震、南海トラフ巨大地震を想定した、本市域における震度分布は下図のとおりである。

新（修正素案）

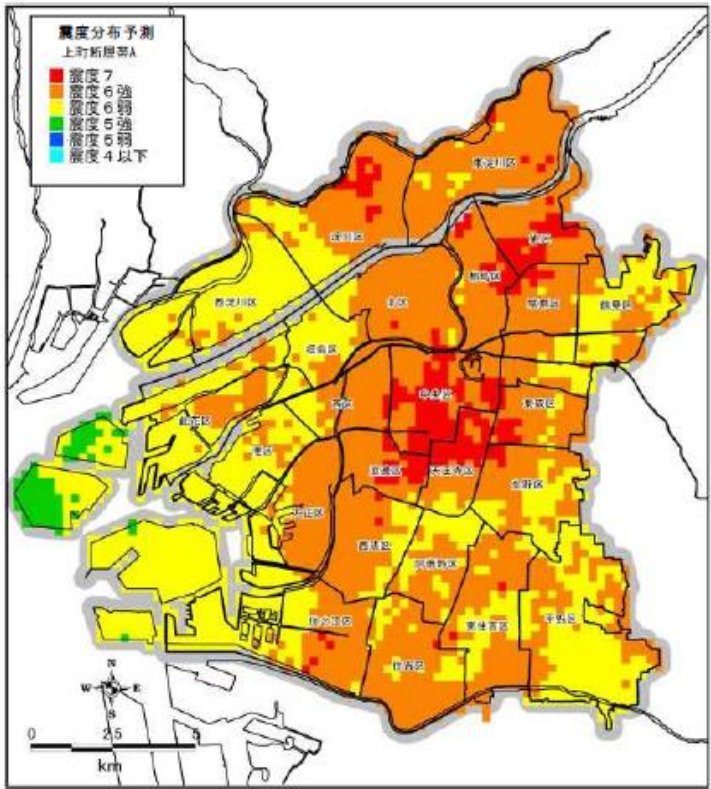


図 予測震度（上町断層帯地震）

出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成 1 9 年 3 月）「被害想定の見直し」

（2）上町断層帯以外の断層等による震度分布

上町断層帯以外の断層等で、本市に影響を与えると考えられる生駒断層帯、有馬高槻断層帯、中央構造線断層帯及び海溝型の南海トラフの活動による東南海・南海地震、南海トラフ巨大地震を想定した、本市域における震度分布は下図のとおりである。

旧（令和4年4月）

新（修正素案）

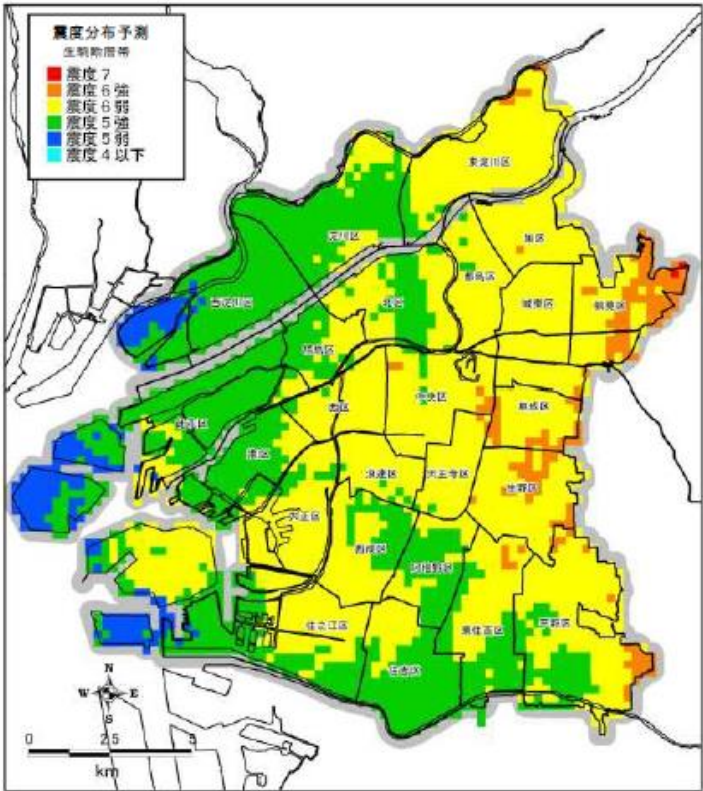


図 予測震度（生駒断層帯地震）

出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成19年3月）「被害想定の見直し」

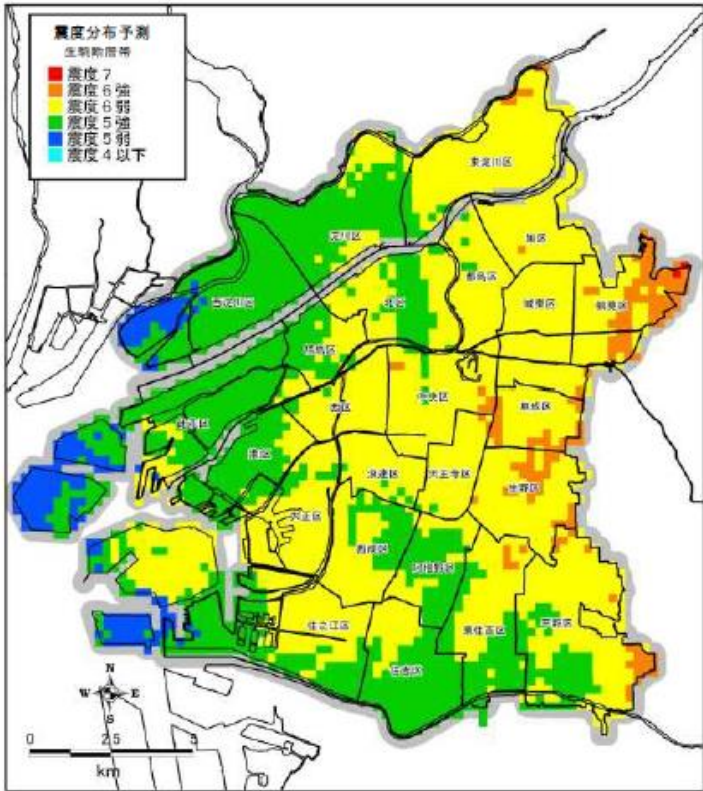


図 予測震度（生駒断層帯地震）

出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成19年3月）「被害想定の見直し」

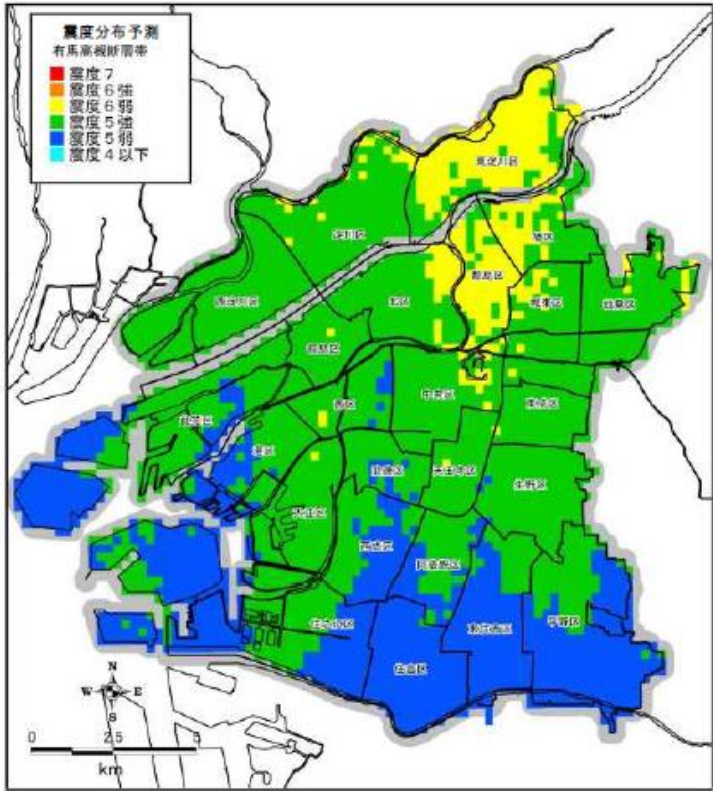


図 予測震度（有馬高槻断層帯地震）

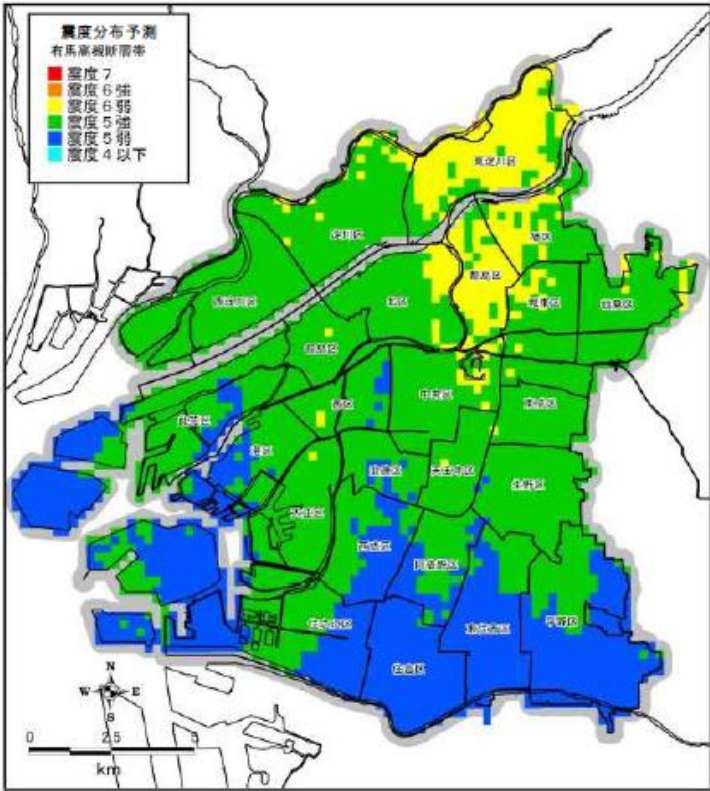
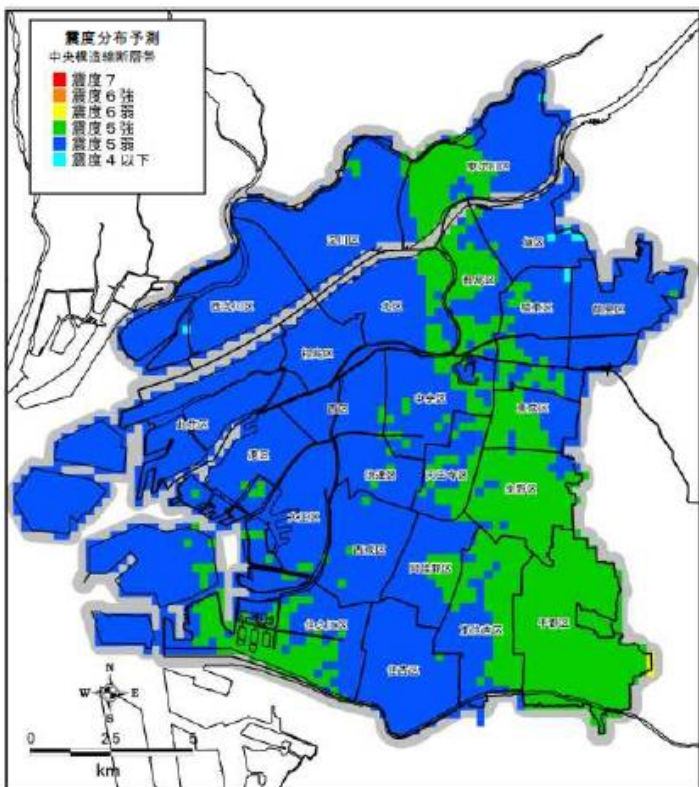
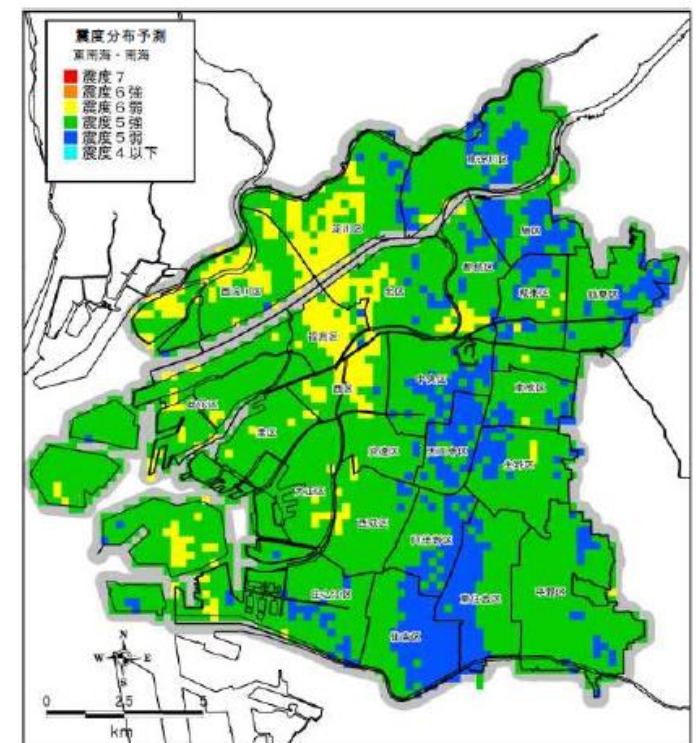
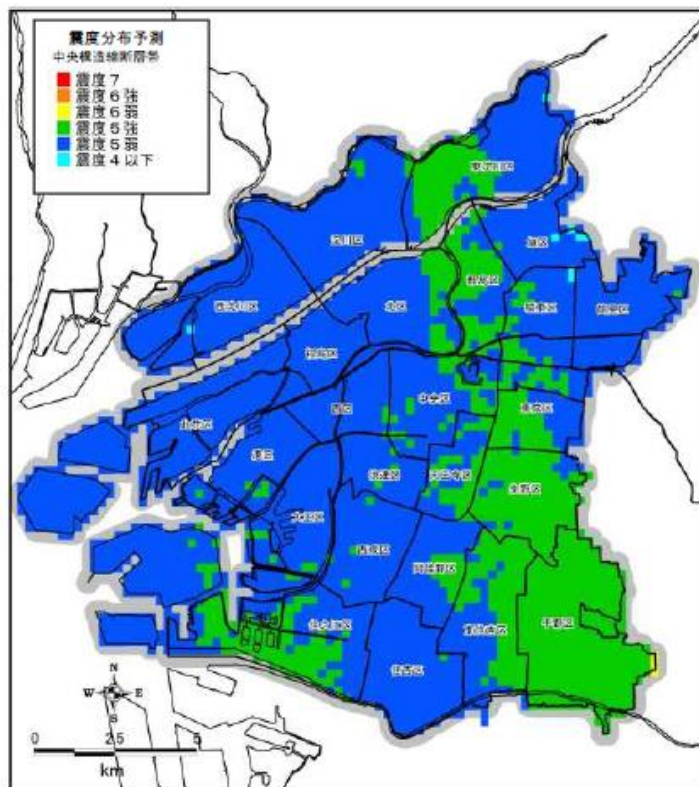
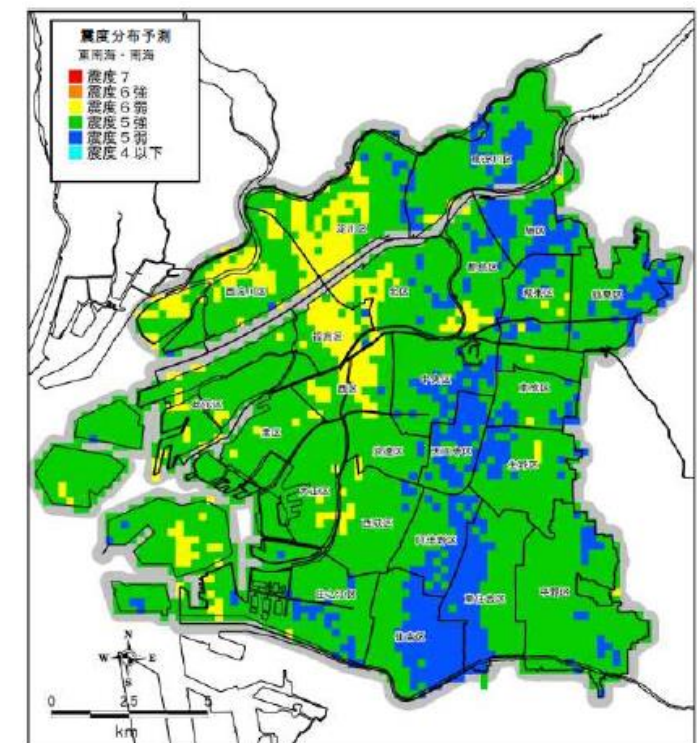
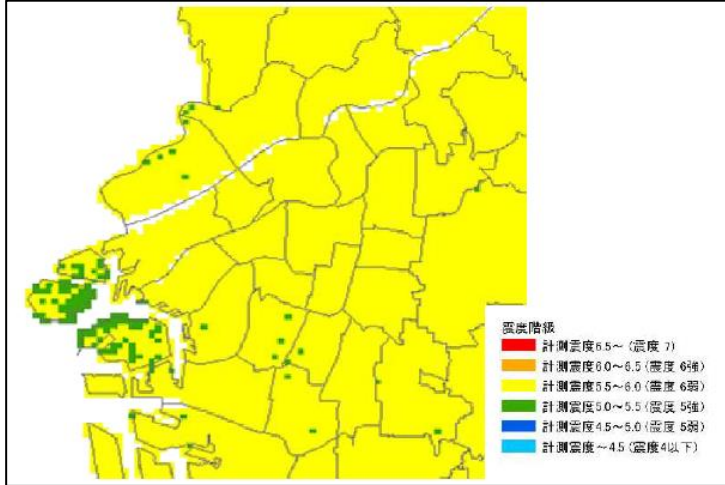
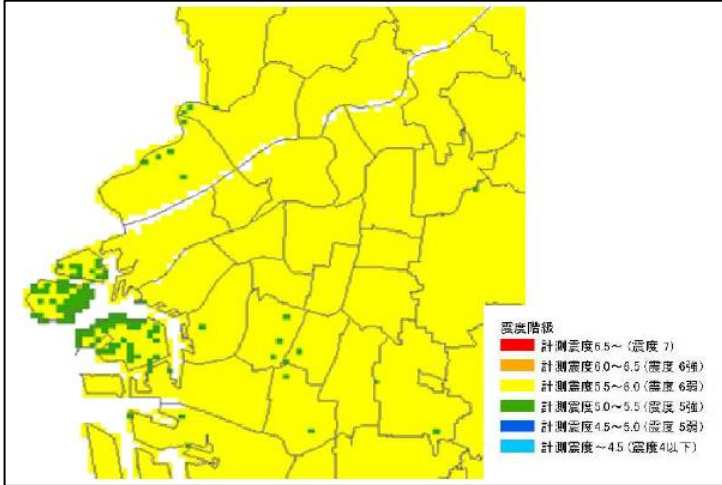


図 予測震度（有馬高槻断層帯地震）

旧（令和 4 年 4 月）	新（修正素案）
出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成 1 9 年 3 月）「被害想定の見直し」  図 予測震度（中央構造線断層帯地震） 出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成 1 9 年 3 月）「被害想定の見直し」  図 予測震度（東南海・南海地震）	出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成 1 9 年 3 月）「被害想定の見直し」  図 予測震度（中央構造線断層帯地震） 出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成 1 9 年 3 月）「被害想定の見直し」  図 予測震度（東南海・南海地震）

旧（令和４年４月）	新（修正素案）																																																				
出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成１９年３月）「被害想定の見直し」  図　予測震度（南海トラフ巨大地震） （出典：大阪府 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（第３回：平成２５年８月８日）資料「震度分布」） （３）津波 科学的知見を踏まえ、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波を想定したうえで2つのレベルの津波に分ける。 ア　最大クラスの津波に比べても発生頻度が高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波（レベル１） イ　発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波（レベル２） 表　想定される津波の高さ^{（注）} <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">南海トラフ巨大地震（H25.8） （レベル２） [海岸線から沖合約 30m 地点 における津波水位]</th><th colspan="2">【参考】東南海・南海地震（H19.3）（レベル１）</th></tr><tr><th>[海岸付近最大値]</th><th>[各区最大値]</th></tr><tr><td>此花区</td><td>0. P. +5. 4m(T. P. +4. 1m) <3. 2m></td><td>0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m></td><td>0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m></td></tr><tr><td>港区</td><td>0. P. +5. 8m(T. P. +4. 5m) <3. 6m></td><td>0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m></td><td>0. P. +4. 6m(T. P. +3. 3m) <2. 5m></td></tr><tr><td>大正区</td><td>0. P. +5. 9m(T. P. +4. 6m) <3. 7m></td><td>0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m></td><td>0. P. +5. 0m(T. P. +3. 7m) <2. 9m></td></tr><tr><td>西淀川区</td><td>0. P. +5. 6m(T. P. +4. 3m) <3. 4m></td><td>0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m></td><td>0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m></td></tr><tr><td>住之江区</td><td>0. P. +6. 4m(T. P. +5. 1m) <4. 2m></td><td>0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m></td><td>0. P. +4. 8m(T. P. +3. 5m) <2. 7m></td></tr></table> （注）　海岸に面している地区のみを公表（ただし想定場所は不明）、南海トラフ巨大地震（H25.8）と従来想定（H19.3）の場所は必ずしも同じではない。なお、< >内は満潮位からの高さ。（大阪市の満潮位 0. P. +2. 2m） ※「0. P. 」：大阪湾最低潮位、「T. P. 」：東京湾平均海面（0. P. =T. P. +1. 3m） 表　想定される津波到達時間（地震発生後到達時間（分））^{（注１）}		南海トラフ巨大地震（H25.8） （レベル２） [海岸線から沖合約 30m 地点 における津波水位]	【参考】東南海・南海地震（H19.3）（レベル１）		[海岸付近最大値]	[各区最大値]	此花区	0. P. +5. 4m(T. P. +4. 1m) <3. 2m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>	港区	0. P. +5. 8m(T. P. +4. 5m) <3. 6m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 6m(T. P. +3. 3m) <2. 5m>	大正区	0. P. +5. 9m(T. P. +4. 6m) <3. 7m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +5. 0m(T. P. +3. 7m) <2. 9m>	西淀川区	0. P. +5. 6m(T. P. +4. 3m) <3. 4m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>	住之江区	0. P. +6. 4m(T. P. +5. 1m) <4. 2m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 8m(T. P. +3. 5m) <2. 7m>	出典：大阪府地震被害想定調査（大阪府自然災害総合防災対策検討（地震被害想定）報告書）（平成１９年３月）「被害想定の見直し」  図　予測震度（南海トラフ巨大地震） （出典：大阪府 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会（第３回：平成２５年８月８日）資料「震度分布」） （３）津波 科学的知見を踏まえ、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの津波を想定したうえで2つのレベルの津波に分ける。 ア　最大クラスの津波に比べても発生頻度が高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波（レベル１） イ　発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波（レベル２） 表　想定される津波の高さ^{（注）} <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">南海トラフ巨大地震（H25.8） （レベル２） [海岸線から沖合約 30m 地点 における津波水位]</th><th colspan="2">【参考】東南海・南海地震（H19.3）（レベル１）</th></tr><tr><th>[海岸付近最大値]</th><th>[各区最大値]</th></tr><tr><td>此花区</td><td>0. P. +5. 4m(T. P. +4. 1m) <3. 2m></td><td>0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m></td><td>0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m></td></tr><tr><td>港区</td><td>0. P. +5. 8m(T. P. +4. 5m) <3. 6m></td><td>0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m></td><td>0. P. +4. 6m(T. P. +3. 3m) <2. 5m></td></tr><tr><td>大正区</td><td>0. P. +5. 9m(T. P. +4. 6m) <3. 7m></td><td>0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m></td><td>0. P. +5. 0m(T. P. +3. 7m) <2. 9m></td></tr><tr><td>西淀川区</td><td>0. P. +5. 6m(T. P. +4. 3m) <3. 4m></td><td>0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m></td><td>0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m></td></tr><tr><td>住之江区</td><td>0. P. +6. 4m(T. P. +5. 1m) <4. 2m></td><td>0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m></td><td>0. P. +4. 8m(T. P. +3. 5m) <2. 7m></td></tr></table> （注）　海岸に面している地区のみを公表（ただし想定場所は不明）、南海トラフ巨大地震（H25.8）と従来想定（H19.3）の場所は必ずしも同じではない。なお、< >内は満潮位からの高さ。（大阪市の満潮位 0. P. +2. 2m） ※「0. P. 」：大阪湾最低潮位、「T. P. 」：東京湾平均海面（0. P. =T. P. +1. 3m） 表　想定される津波到達時間（地震発生後到達時間（分））^{（注１）}		南海トラフ巨大地震（H25.8） （レベル２） [海岸線から沖合約 30m 地点 における津波水位]	【参考】東南海・南海地震（H19.3）（レベル１）		[海岸付近最大値]	[各区最大値]	此花区	0. P. +5. 4m(T. P. +4. 1m) <3. 2m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>	港区	0. P. +5. 8m(T. P. +4. 5m) <3. 6m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 6m(T. P. +3. 3m) <2. 5m>	大正区	0. P. +5. 9m(T. P. +4. 6m) <3. 7m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +5. 0m(T. P. +3. 7m) <2. 9m>	西淀川区	0. P. +5. 6m(T. P. +4. 3m) <3. 4m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>	住之江区	0. P. +6. 4m(T. P. +5. 1m) <4. 2m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 8m(T. P. +3. 5m) <2. 7m>
			南海トラフ巨大地震（H25.8） （レベル２） [海岸線から沖合約 30m 地点 における津波水位]	【参考】東南海・南海地震（H19.3）（レベル１）																																																	
	[海岸付近最大値]	[各区最大値]																																																			
此花区	0. P. +5. 4m(T. P. +4. 1m) <3. 2m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>																																																		
港区	0. P. +5. 8m(T. P. +4. 5m) <3. 6m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 6m(T. P. +3. 3m) <2. 5m>																																																		
大正区	0. P. +5. 9m(T. P. +4. 6m) <3. 7m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +5. 0m(T. P. +3. 7m) <2. 9m>																																																		
西淀川区	0. P. +5. 6m(T. P. +4. 3m) <3. 4m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>																																																		
住之江区	0. P. +6. 4m(T. P. +5. 1m) <4. 2m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 8m(T. P. +3. 5m) <2. 7m>																																																		
	南海トラフ巨大地震（H25.8） （レベル２） [海岸線から沖合約 30m 地点 における津波水位]	【参考】東南海・南海地震（H19.3）（レベル１）																																																			
		[海岸付近最大値]	[各区最大値]																																																		
此花区	0. P. +5. 4m(T. P. +4. 1m) <3. 2m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>																																																		
港区	0. P. +5. 8m(T. P. +4. 5m) <3. 6m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 6m(T. P. +3. 3m) <2. 5m>																																																		
大正区	0. P. +5. 9m(T. P. +4. 6m) <3. 7m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +5. 0m(T. P. +3. 7m) <2. 9m>																																																		
西淀川区	0. P. +5. 6m(T. P. +4. 3m) <3. 4m>	0. P. +4. 1m(T. P. +2. 8m) <2. 0m>	0. P. +4. 3m(T. P. +3. 0m) <2. 2m>																																																		
住之江区	0. P. +6. 4m(T. P. +5. 1m) <4. 2m>	0. P. +4. 5m(T. P. +3. 2m) <2. 4m>	0. P. +4. 8m(T. P. +3. 5m) <2. 7m>																																																		

旧（令和 4 年 4 月）

	南海トラフ巨大地震（H25. 8） （注 2） （レベル 2）	【参考】 東南海・南海地震（H19. 3） （注 3） （レベル 1）
此花区	1 1 3	1 0 5
港区	1 1 4	1 1 5
大正区	1 1 7	1 1 5
西淀川区	1 1 6	1 1 5
住之江区	1 1 0	1 0 5

（注 1）地震の発生場所により、これよりも早く到達する可能性がある。

（注 2）+ 1 m の津波が襲来する時間。（なお、この時間より前にも、+ 1 m より小さい津波は到達しており、津波による災害のおそれがある。）

（注 3）津波が来襲し、水位が静水面より正値になった時間

（4）液状化
本市域の地層、地下水位及び旧地形をもとに液状化の発生を予測した結果は下図のとおりである。

図 液状化の予測（海溝型地震タイプ）

出典：大阪府 南海トラフ巨大地震による震度分布・液状化可能性の詳細（更新日：平成25年8月8日）

新（修正素案）

	南海トラフ巨大地震（H25. 8） （注 2） （レベル 2）	【参考】 東南海・南海地震（H19. 3） （注 3） （レベル 1）
此花区	1 1 3	1 0 5
港区	1 1 4	1 1 5
大正区	1 1 7	1 1 5
西淀川区	1 1 6	1 1 5
住之江区	1 1 0	1 0 5

（注 1）地震の発生場所により、これよりも早く到達する可能性がある。

（注 2）+ 1 m の津波が襲来する時間。（なお、この時間より前にも、+ 1 m より小さい津波は到達しており、津波による災害のおそれがある。）

（注 3）津波が来襲し、水位が静水面より正値になった時間

（4）液状化
本市域の地層、地下水位及び旧地形をもとに液状化の発生を予測した結果は下図のとおりである。

図 液状化の予測（南海トラフ巨大地震）

出典：大阪府 南海トラフ巨大地震による震度分布・液状化可能性の詳細図を一部加工（更新日：平成25年8月8日）

旧（令和 4 年 4 月）

新（修正素案）

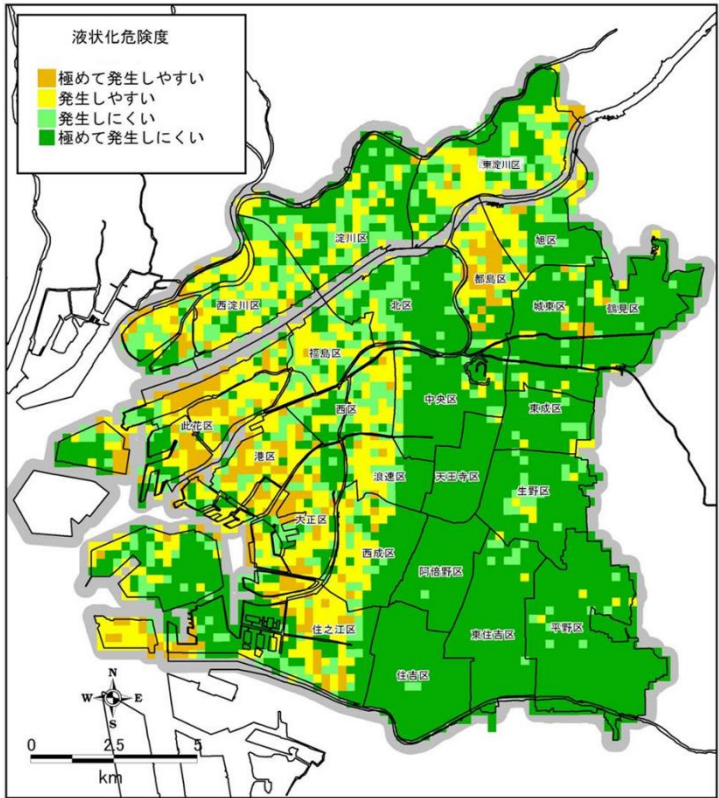


図 液化化の予測（東南海・南海地震）

出典：大阪府 自然災害総合防災対策検討委員会（平成 18 年 3 月）

旧（令和４年４月）										新（修正素案）																	
3－2　被害想定										3－2　被害想定																	
(1) 地震 本市域における地震による被害想定は次のとおりである。（注1）										(1) 地震 本市域における地震による被害想定は次のとおりである。（注1）																	
表　地震による被害想定										表　地震による被害想定																	
項目			大阪市域への影響が考えられる地震								項目			大阪市域への影響が考えられる地震													
			内陸活断層による地震				海溝型（プレート境界）の地震							内陸活断層による地震				海溝型（プレート境界）の地震									
			上町断層帯地震	生駒断層帯地震	有馬高槻断層帯地震	中央構造線断層帯地震	南海トラフ地震		上町断層帯地震	生駒断層帯地震				有馬高槻断層帯地震	中央構造線断層帯地震	南海トラフ地震											
東南海・南海地震	南海トラフ巨大地震	東南海・南海地震					南海トラフ巨大地震																				
地震規模（マグニチュード）			7.5～7.8	7.3～7.7	7.3～7.7	7.7～8.1	7.9～8.6		9.0～9.1		地震規模（マグニチュード）			7.5～7.8	7.3～7.7	7.3～7.7	7.7～8.1	7.9～8.6		9.0～9.1							
発生確率（注2）			2～3％	0～0.2％	0～0.03％	0.06～14％	70～80％					発生確率（注2）			2～3％	0～0.2％	$\frac{0}{\sim 0.04\%}$	<u>0～12％</u>	70～80％								
震度			5強～7	5弱～6強	5弱～6弱	4～5強	5弱～6弱		5強～6弱		震度			5強～7	5弱～6強	5弱～6弱	4～5強	5弱～6弱		5強～6弱							
建物被害			全壊棟数	166,800	62,800	4,700	700	8,500		78,900		建物被害			全壊棟数	166,800	62,800	4,700	700	8,500		78,900					
			木造	145,700	58,200	4,400	600	8,000		71,100					木造	145,700	58,200	4,400	600	8,000		71,100					
			非木造	21,100	4,600	300	100	500		7,800					非木造	21,100	4,600	300	100	500		7,800					
			半壊棟数	109,900	72,300	9,700	1,700	17,700		217,100					半壊棟数	109,900	72,300	9,700	1,700	17,700		217,100					
			木造	82,200	59,700	8,400	1,400	15,200		164,900					木造	82,200	59,700	8,400	1,400	15,200		164,900					
			非木造	27,700	12,600	1,300	300	2,500		52,200					非木造	27,700	12,600	1,300	300	2,500		52,200					
火災（注3）			炎上出火	1日	325件	81件	4件	0	6件		－（注5）		火災（注3）			炎上出火	1日	325件	81件	4件	0	6件		－（注5）			
			1時間	162件	41件	2件	0	3件		－（注5）		1時間				162件	41件	2件	0	3件		－（注5）					
			残火災	6件（注4）	0	0	0	0		－（注5）		残火災				6件（注4）	0	0	0	0		－（注5）					
ライフライン被害			電力	停電率	約64％	約7％	約1％	約0.1％	約2％		約49％		ライフライン被害			電力	停電率	約64％	約7％	約1％	約0.1％	約2％		約49％			
				停電軒数	約983千軒	約105千軒	約10千軒	約1千軒	約26千軒		約720千軒						停電軒数	約983千軒	約105千軒	約10千軒	約1千軒	約26千軒		約720千軒			
				復旧期間	約1週間	約6日	約2日	約1日	約1日		約1週間						復旧期間	約1週間	約6日	約2日	約1日	約1日		約1週間			
			ガス	供給停止率	約81％	約32％	0％	0％	0％		約53％					ガス			供給停止率	約81％	約32％	0％	0％	0％		約53％	
				供給停止戸数	1,195千戸	475千戸	0	0	0		約704千戸								供給停止戸数	1,195千戸	475千戸	0	0	0		約704千戸	
				復旧期間	約2～3ヶ月	約0.5～1.5ヶ月	約0.5～1.5ヶ月	約2週間	－		約1ヶ月（注6）								復旧期間	約2～3ヶ月	約0.5～1.5ヶ月	約0.5～1.5ヶ月	約2週間	－		約1ヶ月（注6）	
			水道	水道断水率（注7）	約45％	約45％	約22％	約11％	約20％		約30％（注8）					水道			水道断水率（注7）	約45％	約45％	約22％	約11％	約20％		約30％（注8）	
				断水人口	1,215千人	1,215千人	594千人	297千人	540千人		848千人								断水人口	1,215千人	1,215千人	594千人	297千人	540千人		848千人	
				復旧期間	約3週間	約3週間	約10日	約1週間	約1週間		約2週間（注9）								復旧期間	約3週間	約3週間	約10日	約1週間	約1週間		約2週間（注9）	
			下水道	下水道機能支障率	－	－	－	－	－		約5.4％					下水道			下水道機能支障率	－	－	－	－	－		約5.4％	
				機能支障人口	－	－	－	－	－		144千人								機能支障人口	－	－	－	－	－		144千人	
				復旧期間	－	－	－	－	－		約1週間								復旧期間	－	－	－	－	－		約1週間	
			電話	固定電話不通率	約13％	約2％	約0.9％	約0.2％	0％		約48％					電話	固定電話不通率	約13％	約2％	約0.9％	約0.2％	0％		約48％			